

# 水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>

第 5 報  
千葉県農林水産部  
令和3年7月14日

## 「ふさおとめ」「ふさこがね」は出穂が始まっています いもち病・斑点米カメムシ類の多発生に注意！

### [ 生育概況 ]

7月上旬は日照時間が少なく、気温が低く推移したため、生育の進みはややブレーキがかかりました。4月20日植えの出穂期は、「ふさおとめ」が7月9日から、「ふさこがね」が7月11日から迎えています。「コシヒカリ」「粒すけ」ともに7月16日から出穂期を迎えます。各品種ともに出穂期は平年並み～やや遅くなっています。5月1日植えの「コシヒカリ」は7月20日からで、平年並み～やや早く出穂期を迎えると予測されます。出穂期を迎えた「ふさおとめ」「ふさこがね」は、葉色がやや濃くなっています。

7月8日気象庁発表の1か月予報では、気温・日照時間とも平年並みとなる見通しです。

表1 品種別の出穂期

| 品種          | 植付時期  | 出穂期（一部、予測）（※） |               |             |             |
|-------------|-------|---------------|---------------|-------------|-------------|
|             |       | 県北<br>（香取市）   | 九十九里<br>（茂原市） | 内湾<br>（千葉市） | 県南<br>（館山市） |
| ふさおとめ       | 4月20日 | 7月13日         | 7月10日         | 7月9日        | 7月9日        |
| ふさこがね       | 4月20日 | 7月15日         | 7月12日         | 7月11日       | 7月11日       |
| コシヒカリ       | 4月20日 | 7月19日         | 7月17日         | 7月16日       | 7月16日       |
|             | 5月1日  | 7月23日         | 7月21日         | 7月20日       | 7月20日       |
|             | 5月10日 | 7月27日         | 7月25日         | 7月24日       | 7月24日       |
| 粒すけ         | 4月20日 | 7月19日         | 7月17日         | 7月16日       | 7月16日       |
| 飼料用米(アキヒカリ) | 5月15日 | 7月21日～        |               |             |             |
| 飼料用米(夢あおば)  | 5月15日 | 7月28日～        |               |             |             |

（※）出穂期とは全莖数の40～50%が出穂した日。出穂期は、水稻作柄安定対策調査結果、生育ステージ予測システム（千葉県試験研究成果普及情報）を基に予測。

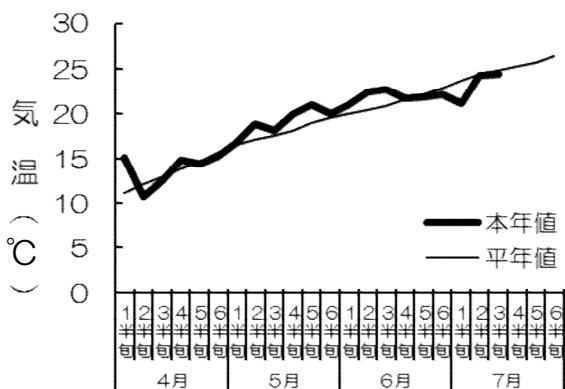


図1 日平均気温の推移（アメダス、佐倉）

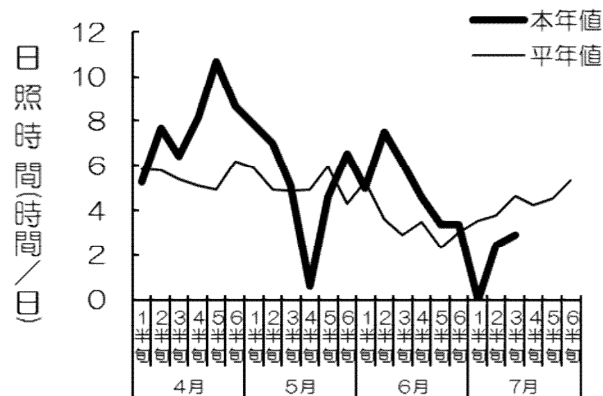


図2 日照時間の推移（アメダス、佐倉）

## [ これからの管理のポイント ]

### ■出穂期 14 日後まで湛水管理

4月20日頃に植え付けた「ふさおとめ」「ふさこがね」は出穂が始まっており、「コシヒカリ」は間もなく出穂となります。水管理は、通常時は出穂期3週間前から出穂期2週間後までの期間は湛水管理(※)を行い、低温時(日平均気温20℃以下、最低気温17℃以下)は深水に管理します。その後は、間断かんがいに移行し、十分な水の補給により玄米品質の低下を未然に防ぎます。

また、農業用水の利用にあたっては、かけ流し防止や漏水対策を徹底し、日頃から大切に使いましょう。

(※) 自然由来のカドミウムの吸収を抑えるためにも必要な技術です。

### ■穂肥の実施

5月に植え付けた「コシヒカリ」や飼料用米の「アキヒカリ」「夢あおば」は、穂肥の時期となります。生育に応じて適期に穂肥を実施しましょう。(詳細は「水稻の生育状況と当面の対策」第4報を参照)



### ■いもち病の防除

病害虫発生予報第4号(農林総合研究センター7月14日)によると、いもち病(穂いもち)の予想発生量は「多」となっています。穂いもちを防ぐため、上位葉に病斑が認められたら、早めに防除しましょう。(防除薬剤は病害虫発生予報第4号を参照)



### ■斑点米カメムシ類の防除

同予報では、斑点米カメムシ類の発生量は大型のカメムシ類は「多」、カスミカメムシ類は「やや多」となっています。防除適期(多発生の場合)は、成虫飛来期の「穂揃期」と幼虫発生盛期の「出穂期10日後」です。表2を参考に、適期に防除を行ってください。

周辺より出穂の早い水田や、特に遅い水田では集中的に加害されることがあります。カメムシの発生は周辺田にも影響するため、主食用米・飼料用米いずれも適期に防除しましょう。

表2 斑点米カメムシ類の防除薬剤

| 収穫前使用日数  | 薬剤名(波線太字は、カスミカメムシ類に効果が期待できる薬剤)                                                                                   |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 収穫7日前まで  | エルサン粉剤3DL、トレボン粉剤DL、スタークル(アルバリリン)顆粒水溶剤、スタークル(アルバリリン)粉剤DL、 <u>スタークル(アルバリリン)粒剤</u> 、ダントツ水溶剤、ダントツ粉剤DL、 <u>ダントツ粒剤</u> |
| 収穫14日前まで | MR.ジョーカーEW、キラップフロアブル、キラップ粉剤DL、 <u>キラップ粒剤</u> 、トレボンMC                                                             |
| 収穫21日前まで | スミチオン乳剤、スミチオン粉剤3DL                                                                                               |

(※) 農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍率、収穫前使用日数、総使用回数などが定められています。ラベルをよく読んで、適正に使用しましょう。

○ 次回の「水稻の生育状況と当面の対策」は、7月28日発行予定です。